

# 熊大通信



Lynda Gratton  
リンダ・グラットン  
池村千秋 訳



木下是雄著  
理科系の作文技術



漫画でフレッシュ教師の教室づくり-基本のキ  
フレッシュ教師の教室づくり-基本のキ



現代社会と紛争解決学  
学際的理論と応用  
安川文明・石原明子 編  
争いや葛藤はなぜ起こるのか、どうすれば解決するのか。  
その基礎理論に加え、哲学・経済学・心理学・法社会学など、広範な学問領域からの多彩な研究も収めた。  
最新の紛争解決学への学際的な手引き。 ナカニシヤ出版

特集I

## 熊大の先生が薦める 2冊の本

特集II

## 放射線を適切に管理し 研究・教育を支援

熊本大学生命資源研究・支援センター アイソトープ総合施設

感動する  
3  
数学に  
栗田 哲也  
携書 Discover  
できる子たちに  
携書 Discover

WORKSHEET  
ワークシート  
孤独と貧困  
働く方の



BLUE BACKS

## 単純な脳、 複雑な「私」

または、自分を使い回しながら  
進化した脳をめぐる  
4つの講義

池谷裕二



数学書房選書 4

## 確率と乱数

杉田 洋 著

桂 利行・栗原得人・堤 啓志雄・深谷賢治 編訳

N. Gregory Mankiw : Principles of Economics

## マンキュー 入門経済学 [第2版]

N・グレゴリー・マンキュー 著  
足立英之・石川誠太・小川英治・地主敏樹・中馬宏之・堀川 隆 訳





## CAMPUS SCENES キャンパスの風景

黒髪南キャンパス・Reposer(ルボゼ)前  
理学部1・2号館屋上から見下ろした  
黒髪南キャンパス。左は工学部1号館。  
右手の「ルボゼ」は大正14年に建設された  
工学部図書館を、平成22年に学生や  
教職員の交流の場などとして改修したもの。  
この日はオープンキャンパスが開催され  
多くの高校生が行き交っていた。



共用棟黒髪7「Reposer(ルボゼ)」



# 熊大通信 54

2014 AUTUMN

vol.

## 熊本大学広報誌 熊大通信

\*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

- 【発行】** 国立大学法人熊本大学  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1  
Tel.096-342-3119  
Fax.096-342-3007  
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp
- 【編集】** 熊大通信編集委員会  
田中 智之／委員長・大学院自然科学研究科  
中川 順子／文学部  
黨 武彦／教育学部  
大脇 成昭／法学部  
中田 晴彦／大学院自然科学研究科  
谷口 まり子／大学院生命科学研究部  
首藤 剛／大学院生命科学研究部  
田中 尚人／政策創造研究教育センター  
西川 洋子／マーケティング推進部広報戦略ユニット
- 【制作】** 株式会社カラスプランニング

## CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 熊大の先生が薦める2冊の本
- 11 研究室探訪 **新たな抗体分子を創り  
医療に貢献したい!**  
大学院生命科学研究部(薬学系)  
生命分析化学分野 森岡弘志研究室
- 13 特集Ⅱ **放射線を適切に管理し  
研究・教育を支援**  
熊本大学生命資源研究・支援センター  
アイソトープ総合施設
- 15 国際交流 インタビュー  
熊本大学から世界へ 末吉彬子さん  
世界から熊本大学へ イ・プトウ・サンリオ・スタンディさん
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ
- 表紙/特集1で紹介した本学の先生が推薦する本のカラーズ

# 熊大の先生が 薦める2冊の



日々講義を行い、研究にいそむあの先生はどんな本を読み、どのような感動を味わってきたのでしょうか。本学の全教員を対象に実施したアンケート調査を基に先生たちが推薦する本をご紹介します。専攻や興味にかかわらず若い人にぜひ読んでほしい本。研究者の視点から選んだ専門分野に関する本。先生の本棚から厳選したとっておきの「2冊」を手に、新しい知の扉を開けてみませんか。

2014年7月下旬～8月上旬にかけ本学全教員にアンケート調査を実施。(1)専門分野にかかわらず若い人に読んでほしい本 (2)研究者の立場から薦める専門分野の本の2冊を聞いた。

若い人に  
オススメ!

【氷点】  
三浦綾子著  
朝日新聞出版  
1965年



北海道旭川市郊外の  
医師の家庭で、罪と許し  
と愛を巡るドラマが展開  
します。幼い娘を殺された  
医師・辻口は、「汝の敵を  
愛せよ」という教えへの挑  
戦と、不義を働いた妻への  
復讐心から、娘を殺した

## 罪とは何か、原罪とは何かを問う名作です。

男の子どもを育てようと  
決意。クリスチャンである  
作者が、罪とは何か、原罪  
とは何かを問い掛けます。  
モラルについて深く考え  
させられる名作です。北  
海道特有の自然も魅力  
的に描写されています。

文学部文学科講師  
畑 亜弥子 (はたあやこ)  
専門分野/20世紀フランス文学  
主な担当授業/仏文学演習



専門分野  
ならコレ!  
現代中国史のワンシーン「上  
海クーデター」を、フランス人作  
家アンドレ・マルローが西洋と東洋  
の悲劇性を融合しつつフィクション化した作  
品。革命的行動に突き進む若者たちのエネル  
ギーは、時代と共に普遍的なものも感じさせ  
ます。作者は中国語はできません。広いフラン  
ス語のネットワークを使って、迫真性を持つ作  
品を書き上げたのです。



『人間の条件』  
アンドレ・マルロー著  
1933年(フランス)  
※絶版。本作品を収録した全集は  
附属図書館中央館で貸し出し可

氏名/所属 ①若い人に薦める本(著者等 出版社) コメント ②研究者として薦める専門分野の本(同) コメント  
※在庫切れの場合があります。詳しくは各出版社にお問い合わせください

大辻正晴/文学部 ①「母という病」(岡田尊司著) ポプラ社 著者は医療少年院に勤務した経験もある精神科医。本書は母親との関係がいかにその人の人生を左右するかを示し、人間について考えさせてくれます。②「ワイトゲンシュタイン―天才哲学者の思い出」(フリーマン・マルコム著) 板坂元訳 平凡社 大学3年のある年後、図書館で出会い、一気に読み終えた一冊。この時の感動が哲学研究の道に進むきっかけとなりました。20世紀を代表する哲学者の特異な個性と生涯を描いた本書は、哲学に関心がない読者にも何かを教えてくれます。

大西克智/文学部 ①「石光真清の手記(全四巻)」(石光真清著) 中公文庫 日清、日露戦争を通じて諜報将校として国家に重用されつつ、最後には遺棄同然の扱いを受けた筆者の半生を綴る。近代日本の生成過程に関する貴重なドキュメントであり、ストーリーとしてもこの上なく面白い。筆者の人間を見る正直(せいちょう)な目が心を揺さぶる。②「ソクラテスの弁明・クリトン」(プラトン著) 久保勉訳 岩波文庫 人間にとって己を相末にしないこと(魂の気遣い)がいかに困難であるか、ソクラテスの傾けた毒盃はこの点を幾度も思い返させてくれる。

慶田勝彦/文学部 ①「わたしを離さないで」(カズオ・イシグロ著) 土屋政雄訳 早川書房 作者は日系イギリス人。クローンたちの記憶やオリジナルへの愛着は、作者の5歳までの、そして後に異国で作られ出されていった複雑な日本への思いを彷彿とさせ、切ない。グローバル化が進む現代に多くのヒントを与えてくれる一冊。②「アザンデ人の世界」(妖精・託宣・呪術)(E.E.エヴァンズ) プリチャード著 向井亨子訳 みすず書房 私を人類学に没入させた超絶民族誌。フィールドワークの入門書を数十冊読むよりは、本書一冊を読む方が断然お薦め。

三瓶弘喜/文学部 ①「後世への最大遺物」(デンマルク国)の語(内村鑑三著) 岩波書店 1894年に内村鑑三が行った講演の記録。誰もが後世に残すことができる。最も価値ある遺物とはなんだろう

若い人に  
オススメ!

【理科系の  
作文技術】

木下是雄著  
中公新書  
1981年



高校までは問題が出されて、それに対する正しい答えを導き出せばよかったのですが、大学では、問題自体を自分で発見し、自分なりに答えを導き出さなければなりません。創造力と、論理的に考え、答え

文系・理系にかかわらず、論理的文章を書こう!

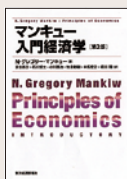


教育学部社会科学教育准教授  
大野正久「おのただひこ」  
専門分野／公共経済学、地方財政  
主な担当授業／経済学概説

を導き出し、他者に分かりやすく説明できる力が要求されます。この本には論理的かつ読み手に分かりやすいレポートや報告書の書き方の重要なポイントが書かれていますので、大変参考になると思います。

専門分野  
ならコレ!

ミクロ経済学とマクロ経済学における重要な概念が分かりやすく説明されており、経済数学の知識がなくても経済学の考え方を大まかに理解することができます。経済学の原理は、実際の日常生活におけるさまざまな経済現象を理解するのに応用できます。経済学の基本的な知識や考え方を身につけたい経済学初学者にとって、大変参考になる本。



『マンキュー入門経済学 (第2版)』  
マンキュー、N. G. 著  
足立英之 / 石川城太 /  
小川英治 / 地主敏樹 /  
中馬宏之 / 柳川隆記  
東洋経済新報社  
2014年

若い人に  
オススメ!

【自閉症だった  
わたしへ】

ドナ・ウィリアムズ著  
河野万里子訳  
新潮文庫刊  
2000年



コミュニケーションを上手にとることができない人たちが思っていることや考えていることを知る手立てになる本です。  
空気や雰囲気や敏感に捉える感性と、自らを社会に合わせようとする葛

コミュニケーションが苦手な人たちを理解したい人へ。



教育学部技術教育教授  
塚本光夫「つかもとみつお」  
専門分野／情報教育、金属材料  
主な担当授業／情報とコンピュータ  
演習I

藤が見事に表現されています。  
独特な感覚についての記述は、読み始めには理解しづらいところがありますが、読み進んでいるうちに、その感覚の意味が理解できるようになります。

専門分野  
ならコレ!

子どもを叱る時にはどうすれば良いでしょうか。授業だけでなくさまざまな問題に対応しなければならぬのが教師です。この本は、学級のルールの決め方、言葉遣いなど、教師が子どもを導く方法について、文章とマンガを用いて具体的に分かりやすく教えてくれます。新人教諭や教育実習生にとって知りたい情報が満載です。



『漫画で行動をイメージできる! フレッシュ教師の教室づくり』  
基本のキ  
前田康裕著  
明治図書出版  
2008年

う? みずみずしい文章と真っ直ぐな思いが読む者の心を強く揺り動かします。

積山薫 / 文学部 ①「想像するからーチンパンジーが教えてくれた人間の心」(松沢哲郎著、岩波書店) 人間の進化の隣人であるチンパンジーを長年にわたって研究してきた筆者の、研究者としての一貫した姿勢と生物に対する温かいまなざしが素晴らしい。②「ころころが育つ環境をつくるー発達心理学からの提言」(宇田増生 / 仲真紀子編、新曜社) 豊かな心の発達を考える上で、現代日本に生きる私たちが直面する課題に、どのように取り組むべきかが書かれている。

田中朋弘 / 文学部 ①「新版論文の教室ーレポートから卒論まで」(戸田山和久著、NHK出版) 論文とは何かを知るためのものとして、コンパクトによくまとまってお薦めです。②「翔本と猫のインターネットの夏休み」(永井均著、筑摩書房) 哲学の根本問題について、物語仕立てで書かれた本。予備知識などは必要なく、登場人物と一緒に「考える」ことに力点が置かれています。

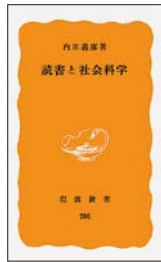
丹下 榮 / 文学部 ①「原発はなぜ危険かー元設計技師の証言」(田中三彦著、岩波書店) 「危険」安全という用語はどういう意味内容を持っているか、持つべきかを考える上での貴重な示唆に満ちた一冊。②「生活の世界歴史(6) 中世の森の中で」(木村尚三郎 / 堀越孝一 / 渡辺昌美著、堀本庸三編、河出文庫) 真の学識に裏付けられた叙述とそうでない叙述の違いが一冊で分かる。

永尾 悟 / 文学部 ①「翻訳夜話2 サリンジャー一戦記」(村上春樹 / 柴田元幸著、文春新書) 村上春樹と翻訳者・柴田元幸の対談を収録。外国文学の翻訳本を手にとってみたくなる一冊。②「ブラック・ボーイ」ある幼少期の記録(リチャード・ライト著、野崎孝一訳、岩波書店) アメリカ南部生まれの黒人少年が、人種差別や貧困と闘いながら作家を目指すまでを描く。人種という文化的概念が個人の思考やふるまいを形成する要因になることを理解できる。

中島隆 / 文学部 ①「はるかな町」(三木卓著、集英社文庫) ある城下町での少年期への追想を描く、清冽な幸福感に溢れた33の短編。②「はてしない物語」(ミヒヤエル・エンデル著、上田真由子 / 佐藤真理子訳、岩波書店) 知的興奮に満ちた長編児童文学。「書物としての世界」を新斬で緻密な構成で描きます。



大学院社会文化科学研究科  
人間・社会科学専攻  
先端倫理学領域准教授  
**中川輝彦**(なかがわ てるひこ)  
専門分野/社会学  
主な担当授業/医療福祉社会学



『読書と社会科学』  
内田義彦著 岩波書店  
1985年

若い人に  
オススメ!



法学部法学科教授  
**大日方信春**(おびなた のぶはる)  
専門分野/憲法学  
主な担当授業/憲法I  
(基本的人権)



『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』  
岩崎夏海著 ダイアモンド社 2009年

若い人に  
オススメ!

「何をどう学ぶのか」が分かる本  
に生かすのを知ることが  
できます。

タイトルには「社会学」とありますが、多くの学部学生にも、大学院生にもお薦めしたい本です。

## 「何をどう学ぶのか」が分かる本

### 読書によって

本書は、研究とはどのような営みなのかを、読書という行為に焦点を合わせて論じています。本書から、読書、特に学術書を読むことを通じて、何をどのように学ぶのか、学んだことをどのように研究

には、読書、特に学術書を、読むことを通じて、何をどのように学ぶのか、学んだことをどのように研究

## 組織間理論としても 青春ドラマとしても面白い！

ひところ話題になった「もしドラ」。ドラッカー『マネジメント』の理論を、甲子園を目指す野球部に適用したらどうなるかという発想が面白い。また、ドラッカーを抜きにしても、高校球児の小さな

説として面白い。ストライクが入らなくなるピッチャーからメンバーが離れそうになる時、「フォアボールを出したくて出すピッチャーはいない」と言う監督や、「ノーバントノーボール作戦」など秀逸です。

専門分野  
ならコレ!

『科学が作られているとき—人類学的考察』  
フルーノ・ラトゥール著  
川崎勝/高田紀代志訳  
産業図書  
1999年

科学という営みが、誰のどのような活動がどのように結びついて成立しているのかを描いています。本書は、おそらく多くの読者の「科学」のイメージを変えることでしょう。ここには、主としていわゆる「理系」の世界が描かれていますが、「文系」の学問分野についても多くを学べると思います。

専門分野  
ならコレ!

『憲法主義』  
南野森/内山奈月著  
PHP研究所  
2014年

AKB48の内山奈月先生に、九州大学の憲法の先生が講義した講義録。なっきはAKBのコンサートで、憲法48条(AKBだからか?)を暗唱してみせたことと有名。憲法とは何か、いま問われている立憲主義(本書では「憲法主義」とは何かという憲法理論の根幹を平明に説く、本格的な入門書です。

- 今井伸和/教育学部 ①『銀河鉄道の夜』(宮沢賢治著 新潮社他) 主人公のジヨバンニのように「ほんとうのさいわい」を探すきっかけにしたい。
- ②「人間とは何か—実存的精神療法」(V・E・フランクル著 山田邦男監訳 岡本哲雄/雨宮徹 今井伸和訳 春秋社) 思想家としてのフランクルを全体的に理解できる一冊。
- 緒方信行/教育学部 ①『イザベラ・バードの日本紀行』(イザベラ・バード著 時岡敬子訳 講談社) 明治維新当時、なぜ日本が世界に大きく羽ばたいていったのか、地方はどのような暮らしをしていたのか、なぜ日本は外国人に受け入れられていったのかなどを考える時にお薦めの本。②『高村光雲—木彫七十年(人間の記録)』(高村光雲著 日本図書センター) 明治維新当時、日本が世界に羽ばたいた背景には美術も大きく関わっていた。仏像彫刻関係に特化した彫刻家たちの中で、世界の彫刻界に挑んだ光雲(代表作「老猿」)の生涯を描いた本。
- 國枝春恵/教育学部 ①『キリスト教を問わないおす』(土井健司著 筑摩書房) 日本人の視点でキリスト教を考えることができ、キリスト教史の真の面をどう捉えるかについて書かれている、読みやすい一冊。②『日本の音—世界のなかの日本音楽』(小泉文夫著 平凡社) 日本の音楽をとっても分かりやすく、楽しく解説しており、理解が深まります。
- 武田珠美/教育学部 ①『アフリカの蹄』(帯木逢生著 講談社) 奇抜なストーリーが未知の世界へ誘ってくれる。読書って面白いと気付かされる本。②『科学でひらくコマの世界』(福田靖子著 日本調理科学会監修 建帛社) 主要な作物ではない「コマ」が世界中で昔から食べ継がれてきた理由が分かる。
- 竹中伸夫/教育学部 ①『教育問題はなぜまちがって語られるのか?—わかつたつもりからの脱却』(広田照幸/伊藤茂樹著 日本図書センター) 社会学という学問を考える上で避けて通れない構成主義という考え方が、比較的平易な文章で書かれている。②『教育課程改革と教師の専門職性—ナショナルカリキュラムを超えて』(デニス・ロートン著 藤野正章訳 学文社) 教師に求められる専門性とは?教育者にとって必読の書。
- 藤瀬泰司/教育学部 ①『新版論文の教室—レポートから卒論まで』(戸田山和久著 NHK出版) レ

文学の先生から  
アドバイス

## 読書の醍醐味と お薦めの読書法を教えます。

文学部 文学科  
超域言語文学コース教授  
西楨 偉 (にしまき いさむ)  
専門は比較文学。熊本日日新聞  
日曜朝刊読書欄に、2010年秋  
より3カ月に1回のペースで書評  
を執筆。



本を読むことの醍醐味は、自分が今いる場所から飛躍させてくれること。外国にも古代にも空想の世界にも行くことができ、そこで自分の精神を遊ばせることで、自らを客観的に眺められるようになるのです。よくいわれるように文学作品には「解毒作用」があり、別の世界に浸るだけで勇気づけられることがありますよね。言葉

の力はとても強いです。読んだことがそのまま、自分の体験になるような読書をしたいいですね。

読書の世界を広げるにはどうしたらよいか。それには、良い本に出合ったら、そこから「芋づる式」にたどっていけばよいでしょう。小説の場合は、気に入った作品があればその人の全作品に目を向ける。また、筆者がその著作の中で言及している本に手を伸ばしてみる。信頼できる筆者が薦めてくれる本は、広い世界への入り口です。本は関わりの中で読むことが大切なのです。

私のお薦めの読書法をいくつか紹介しましょう。まず、鉛筆を手に読書。傍線を引いたり、コメントを書き込んだりしな

がら読めば、内容把握や次に読む時の助けになります。読書ノートも良いですね。読んだ本から抜粋し、感想を書くことで、要約する能力が身に付きま

す。書いたものを友人に見てもいい、意見を聞くとさらに良い。こういう経験は卒業論文を書くときにも役立ちます。

わが家では家族ゼミなるものを開催しています。例えば『徒然草』を二日二段落ずつ、まずは古文を音読。そして現代語訳を読み、最後にもう一度古文を

### 『都市空間のなかの文学』

前田愛著 筑摩書房 1992年

「都市空間」の視点から、森鷗外『舞姫』や夏目漱石の『彼岸過迄』など、主に日本の近代文学を鋭く読み解いた評論集。良い作品を読むだけでなく、良い文学批評を読むこともお薦めです。



若い人に  
オススメ!

専門分野  
ならコレ!



### 『日本における外国文学』

島田謹二著 朝日新聞社 1975-76年

比較文学を日本に根付かせた著者による名著。易しい文体と熱い語り口で比較文学の面白さを伝えてくれます。絶版ですが図書館にありますよ。

ポトや論文の書き方に関するエッセンスが簡潔にまとめられている。学生と教員の対話形式の文章は、高校生や大学1年生にも読みやすい。②「新編教える」ということ「大村はま著 筑摩書房」この本を読めば、教えることに対する関心と、教育者としてのプロ意識が高まること間違いなし!

堀畑正臣/教育学部①「下克上の文学」(佐竹昭広著 筑摩書房) 学問の面白さ、視野の広さ、考え方を教えられる本。日本の良質な視点を味わってほしい。②「東西・南北考―いくつもの日本へ」(赤坂憲雄著 岩波書店) 日本は中央集権的ではなく、いくつもの日本が混在していることを民族学的観点から解き明かすなど、大変面白い。

宮瀬美津子/教育学部①「不都合な真実」(アルゴア著 枝廣淳子訳 ランダムハウス講談社) 環境破壊の恐ろしさを物語の多数の資料、写真などをもとに、人類が直面している危機について警告し、対処法を示す。21世紀を担う全ての若者に共通する課題であるので、ぜひ読んでほしい。

岡田行雄/法学部①「この国の失敗の本質」(柳田邦男著 講談社) 15年以上前の本だが、現在もなお日本が真摯に取り組むことを避け続けていく「宿題」を明示。何がこの国の失敗の本質なのかを改めて考えてほしい。②「誤判の構造―日本型刑事裁判の光と影」(横山晃一郎著 日本評論社) 冤罪が生じる構造的な原因を明らかにする名著。日本の刑事司法が、被告人には反省を強いる一方で自らは反省しようとならないのはなぜなのかを考えた。

外川健一/法学部①「大学生になるまきへ―知的空間入門」(中山茂著 岩波書店) 科学技術がいかに人間の社会経済に影響を及ぼしたかを、分かりやすく解説。とっつきやすいが中身は濃い本。②「日本の経済地理学50年」(藤田佳久/阿部和俊編 古今書院) 経済地理学とは何か。その答えを探すためにも、諸先輩のこれまでの研究の足取りを調べてみよう。

山崎広道/法学部①「選択可能な未来」(高木善之著 PHP研究所) 環境を破壊したのも人間なら、それを止めるのも人間。未来は変えられる。そのためには未来を知ることが増えること。この本を通して未来を知ろう。②「租税法」(金子宏著 弘文堂) 租税法全般について、わが国で最も体系的に記述されている学術書。

若い人に  
オススメ!



『ベコロスの  
母に会いに行く』  
岡野雄一著  
西日本新聞社  
2012年

本書は漫画です。四コマ  
完結もあれば、ページを越  
える話もあります。認知  
症の母と自宅で過ごす  
日々、母が介護施設に入っ  
てからの日々。時の流れを  
自在に行き来するエピソード

### 穏やかで切ない時間が流れる至極の一冊です。



医学部附属病院  
医療の質管理センター准教授  
菊池 健きき けん  
専門分野/経営、品質管理、情報処理  
主な担当授業/組織経営ケース分析

ドのなんと豊かなことか。  
ひどく懐かしい景色と  
共に、ゆったりと喜怒哀楽  
が流れる至極の一冊です。  
今夏、著者のお母さま  
が亡くなりました。ご冥  
福をお祈りします。

専門分野  
ならコレ!

現代社会が抱えるさまざまな  
な紛争について、どのように向き  
合い、解決や変容を図るのか。  
それらのエッセンスを示している本です。著者  
の一人として、第9章にて、患者・家族の理  
不尽な行為により重要な社会インフラであ  
る医療者と医療機関の機能と効率が著し  
く妨げられるため、時に厳しい対処が必要  
と述べました。



『現代社会と紛争解決学  
—学際的理論と応用—』  
安川文朗/石原明子編  
ナカニシヤ出版  
2014年

若い人に  
オススメ!



『スパイス、爆薬、  
医薬品  
—世界史を変えた  
17の化学物質—』  
ベニールクーター/小林力訳  
ジェイ・パルソン著  
中央公論新社  
2011年

スパイスを求めてインドへ  
の航海に乗り出したヴァス  
コ・ダ・ガマ、ダイナマイトの  
発明で巨万の富を得たア  
ルフレッド・ノーベル、染料の  
研究から強力な感染症  
治療薬(サルファ剤)を発

### 文理融合型の教養書としてうってつけの一冊です。



大学院生命科学研究部  
薬物活性学分野教授  
香月博志かつき ひろし  
専門分野/中枢神経薬理学、神経化学  
主な担当授業/薬理学

見したゲルハルト・ドーマク  
など……。化学物質の存  
在・発見が歴史の原動力  
となったエピソードをテンポ  
良く紹介する本書は、文  
理融合型の教養書として  
うってつけです。

専門分野  
ならコレ!

ヒトの行動・感情・認知など  
の機能がどのように生み出され  
ているのかを、解剖学・生理学・  
神経化学・内分泌学などの多様な知見に基  
づき、巧みに解き明かす良書。刊行から10年  
近く経過してなお、神経科学関連の和文書  
としてはベスト。和訳は英文原著の第5版。  
最新情報は原著第9版(2013年)でど  
うぞ。



『ビネル バイオサイコロジー  
—脳一心と行動の神経科学—』  
ジョン・ビネル著  
佐藤敬/若林孝一/  
泉井亮/飛鳥井望訳  
西村書店  
2005年

矢原正治/薬学部附属薬用資源エコフロンティア  
センター①『名医が伝える漢方の知恵』(二)宗義著  
集英社、西洋医学とは違う観点から、自分のエネ  
ギーのコントロールの仕方などが分かる。一般にも  
分かりやすい内容。②『A Handbook of Medicinal  
Plants of Nepal Supplement 1』(渡邊高志/K.R.  
Brandar/K.J.Malla/H.P.Dewkota/矢原正治著  
チュールコン大学出版、ネパールの薬用植物につ  
いて、分布地図や成分引用文献まで掲載。ネパールに  
行ってみよう!

石原明子/社会文化科学研究科①『道ありき』(三)浦  
綾子著 新潮社、私が高校の時に出会い、今も大き  
な意義となってくれている本。希望は絶望の中でこ  
そ光となつて現れると思います。②『修復的司法と  
は何か—応報から関係修復へ—』(ハワード・ゼア著  
西村春夫/細井洋子/高橋則夫訳 新泉社)人は罪  
を犯しても再生できます。正義と平和の実現は表裏  
一体であることを明確にし、新しい正義への道筋を  
示す良書です。

植田均/社会文化科学研究科①『椿と花水木—万  
次郎の生涯—』(津本陽著 幻冬舎)他 一介の貧しい  
漁民が、現在の東大教授へと栄達していき、決して  
諦めてはいないことを教えてくれる実話。②『白  
話小説語彙詞典—白話国語—』(商務印書館 現代中国  
語をより深く理解するには、その直接の祖先である  
『近世中国語』を学習・研究しなければならない。そ  
のため必須の工具書。

柳錦平/自然科学研究科①『北極男』(萩田泰永  
著 講談社)好きなことをやり続けること、それが  
人生。一生続けられることを熊大で見つけよう!  
②『チェンジング・ブルー—気候変動の謎に迫る—』  
(大河内直彦著 岩波書店)時代背景や分析技術の  
進歩なども含めた地球化学の歴史が分かり、研究者  
が読んでも面白い。

高野博喜/自然科学研究科①『アフリカにようり  
旅—青山潤著 講談社 著者は二ホンウナギの産卵  
場所を特定して話題になった研究グループの一人。  
ウナギを求めて旅をする研究者としてのも案外楽し  
いかも、と思つこと請け合い。②『30年 紀の生物—  
(土屋健著 技術評論社)写真やイラストがとても  
きれいで、眺めているだけでも飽きません。

中田晴彦/自然科学研究科①『深夜特急—沢木耕太  
郎著 新潮社 時間があつて金がない20代に、泥臭





政策創造研究教育センター准教授  
河村洋子(かわむら ようこ)

専門分野/健康教育学、  
ヘルスコミュニケーション、  
ヘルスプロモーション  
主な担当授業/健康政策論  
(公共コミュニケーション)



『ワーク・シフト』  
リンダ・グラットン著 池村千秋訳  
プレジデント社 2012年

若い人に  
オススメ!



学長  
谷口 功(たにぐち いさお)

専門分野/工業物理化学  
(電気化学)  
主な担当授業/学長講義  
(特別講義)



『坂の上の雲』(全8巻)  
司馬遼太郎著 文春文庫  
1999年(単行本は1969年刊行)

若い人に  
オススメ!

世界の人口が70億人を  
超える一方、日本では少子  
高齢化と人口減少が進  
み、グローバル化が加速し  
激しく変化する世界で、どのよう  
に生きるか考える時に読んでほしい。

は変化しています。このよ  
うな時代の中で、社会と  
のつながり方や人生の目  
的、その目的と仕事の関  
わりなど、働くことだけ  
なく、生き方についてし  
考えなければならな  
いことが分かる本です。

本学の前身である旧制  
第五高等学校も貢献し  
た、明治維新から近代日  
本を形成する時代の偉人  
の群像が描かれており、学  
ぶべきものがたくさんある  
名作です。

「坂の上の雲」を突き  
これから世界を舞台に生きていく  
若い君に読んでほしい。

破つて進んで行かなければ  
ならない今日のわが国の  
状況を考える上でも、若  
い人たちが世界を舞台に  
生きていくための参考に  
してほしい。先人の熱い思  
いに共感し、激動の社会に  
立ち向かってください。

『つながり  
—社会的ネットワーク  
の驚くべき力』  
ニコラス・A・クリスタクス/  
ジェームズ・H・ファウラー著  
鬼澤忍訳 講談社  
2010年



専門分野  
ならコレ!

東日本大震災後、人との  
つながりが強調されますが、  
かつての農村のような強い  
つながりを現代に取り戻すことは現実的  
ではないでしょう。それでもつながりは人類  
の営みに必要不可欠であることを科学的  
的に検証し、その有用性や重要性を説  
くのが本書です。これからの「つながり」  
についての考え方を示してくれます。

『バイオ電気化学の実際  
—バイオセンサ・  
バイオ電池の実用展開』  
池田篤治監修  
シーエムシー出版  
2007年(書影は2013年  
刊行の普及版)



専門分野  
ならコレ!

生物電気化学の近年の  
新しい展開が易しく解説さ  
れている書籍で、電気化学  
分野の今後を理解する上で参考になり  
ます。小生も、二章(第15章 グルコース—空  
気燃料電池)を分担執筆しています。バ  
イオセンサとバイオ電池のそれぞれの構  
成や必要な電極などについても理解を  
深めてほしいですね。

くも深く充実した時間を過ごすためのヒントと勇  
気を与えてくれる本。②「基準値のからくり」(村上  
道夫/永井孝志/小野恭子/岸本充生著 講談社)  
その根拠などについては、案外知られていない「基  
準値」。それが「あること」「考えること」から遠ざ  
かっているのか、ハッとさせられる本。

西山忠男/自然科学研究科 ①「大衆の反逆」(オルテ  
ガ・イガセット著 神吉敬三訳 白水社) 1930  
年に発表されながら、現代日本に生きるわれわれの  
実態を鋭く突く本。この本の言葉に鼓舞されない人  
生は生きるに値しない。

伊東龍一/自然科学研究科 ①「自分のなかに歴史を  
よむ」(阿部謹也著 筑摩書房) 学問の厳しさや学  
問の世界では年齢や地位などに関係なく皆が平等  
であることなどが、易しい言葉で語られている本。

②「日本の近世住宅」(平井聖著 鹿島研究所出版  
会) 若くして亡くなった先輩がくれた本。師匠の書  
いた本で当時は敬遠していたが、今は素直に興味深  
いと思える。

緒方公一/自然科学研究科 ①「事故はこうして始  
まった!」(ヒューマン・エラーの恐怖) (S・ケイ  
シー著 赤松幹之訳 化学同人) ヒューマン・エ  
ラーの事故において、人間の思い込みや限界、装置  
の在り方、現場で起こっていることを知ることの大  
切さなど、非常に考えさせられる内容。②「電気発見  
物語」(見えないものが、どのように明らかになっ  
たか) (藤村哲夫著 講談社) 人類と電気との出会い、  
電気に関する歴史や原理などを網羅。内容は濃い  
が分かりやすい。

川島扶美子/自然科学研究科 ①「科学技術文を書く  
ための基礎知識」(「書き言葉」って?) (深尾百合子  
著 アグネ技術センター) 科学技術に関する文章の  
基本的なルールを平易に解説。話し言葉や無駄に修  
飾語の多い文章でレポートや卒論を書かないため  
に一読を。

高田真入/自然科学研究科 ①「ニューロマン  
サー」(ウィリアム・ギブソン著 黒丸尚訳 早川  
書房) SF作家は将来起こりうることを多くを予  
見しており、その想像力に学ぶべき点は多い。古典  
だが、若い人には新しいかも。②「環境デザイン講  
義」(内藤廣著 王国社) 環境とデザイン、どちら  
にも偏ることなくその関係を実践的かつ面白く伝  
える良書。

若い人に  
オススメ!

「単純な脳、  
複雑な「私」」  
池谷裕二著  
講談社  
2013年



著者が自分の母校の高校生に、脳研究の現在について行った講義をまとめた本です。

近年の脳研究の発展は著しく、これまで「心の問題」とされてきたことと脳の働きの関係が、科学的

「ミニ」20年ほどで、理解が進んだ最終氷期から後氷期にかけて(過去数万年ほど)の気候変動を、突破口となった研究を紹介することで解説しています。一般向けの科学解説書としても優秀ですし、私のような研究者にとっても中途半端に入っていた知識が整理されており、たい本です。地球に興味を持つ全ての人に薦めます。



『チェンジング・ブルー  
—気候変動の謎に迫る—』  
大河内直彦著  
岩波書店  
2008年

### 脳の働きに驚いているうちに哲学にまで迫れる名著。

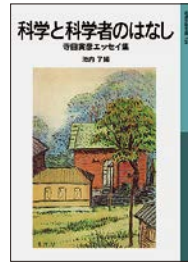


大学院自然科学研究科理学専攻  
地球環境科学講座教授  
渋谷秀敏(しゅがひでとし)  
専門分野/地球物理学、  
古地磁気学、惑星磁気学  
主な担当授業/地球惑星電磁気学

に実証されつつあります。その例をいろいろ取り上げて、平易に語られていて、ワクワクします。それは実は、哲学の本丸に迫ることで、自分とは何かを考えさせられる、希有な名著です。

若い人に  
オススメ!

「科学と  
科学者のなし」  
寺田寅彦  
エッセイ集  
池内了編  
岩波書店  
2000年



寺田寅彦は、熊本大学出身で、明治から昭和にかけて活躍した日本を代表する物理学者です。夏目漱石とも親交があり、『吾輩は猫である』の水島寒月や『四郎』の野々宮宗八のモデルともいわれています。

また、随筆家、俳人としても有名です。この本は面白いだけでなく、寺田寅彦という科学と文学の双方に通じた人を知ることができ、先人の考えに触れることで、大学で学ぶ意義を感じ取ってもらいたいです。

「ミニ」20年ほどで、理解が進んだ最終氷期から後氷期にかけて(過去数万年ほど)の気候変動を、突破口となった研究を紹介することで解説しています。一般向けの科学解説書としても優秀ですし、私のような研究者にとっても中途半端に入っていた知識が整理されており、たい本です。地球に興味を持つ全ての人に薦めます。



『7つの言語 7つの世界』  
Bruce A. Tate著  
まつもとゆきひろ監訳  
田和勝訳  
オーム社  
2011年

また、随筆家、俳人としても有名です。この本は面白いだけでなく、寺田寅彦という科学と文学の双方に通じた人を知ることができ、先人の考えに触れることで、大学で学ぶ意義を感じ取ってもらいたいです。

大学院自然科学研究科  
情報電気電子工学専攻  
先端情報通信工学講座准教授  
飯田全広(いいたまひろ)  
専門分野/コンピュータサイエンス  
主な担当授業/論理回路論



田中智之/自然科学研究科①「情報と文化」多様性・同時性・選択性(情報文化研究フォーラム編集 エヌ・ティ・メディア) 若き日のステイブ・ジョブズを好奇心の大海へと導いた「Whole Earth Catalogue」のように、知識の海への入口が満載された本。②「ミニエリスムと近代建築」コーリン・ロウ著 建築論集(コーリン・ロウ著 伊東豊雄・松永安光訳 彰国社) 建築設計を学ぶ上で必読書。近代建築の「見方」や「捉え方」を学べ、同時に近代へと至る建築の歴史や多様な事例を知ることができる。

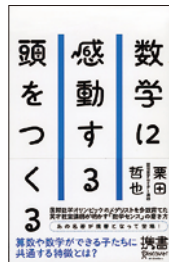
富永昌人/自然科学研究科①「プロフェッショナルの条件」(P.F.ドゥラッカー著 上田惇生訳 ダイヤモンド社) はじめて読むドゥラッカー「自己実現編」。働くことの意味や自己マネジメントなど今後の人生において参考になることが多々。②「図解アメリカ版 大学生物学の教科書」(D・サダヴァ他著 石崎泰樹/丸山敬訳 講談社) 生物のエネルギー獲得について理解できるとともに、それが燃料電池や太陽電池などのコンセプトと同じことであることが分かる。

星野裕司/自然科学研究科①「なつかしい時間」(長田弘著 岩波書店) 日常の何でもない風景の豊かさを、分りやすく美しい日本語で語っています。②「日本の景観—ふるさとの原型」(樋口忠彦著 筑摩書屋) 景観工学という日本固有に発達した分野の端緒を飾る書籍です。

谷口まり子/生命科学研究所①「ケータイを持ったサル」(人間らしさの崩壊) (正高信男著 中公新書) 「近頃の若者は」と嘆かれるような社会現象を鋭い霊長類研究者が専門の知見を総動員して分析。青年期にある自分を見つめ直す上で参考になる本。②「死と向きあうための12章」(日本死の臨床研究会編 人間と歴史社) 「死を考えることにより、より豊かな人生を考える」と編者が意図しているように、自己表現の一助となる本。

副田二三夫/生命科学研究所①「生物と無生物のあいだ」(福岡伸一著 講談社) 「生命とは何か 動的平衡論など、生命科学を志す学生にとって、興味深い内容。質の高い教養が身に付く。②「薬の散歩道 薬理学入門」(仁木一郎著 メディカルサイエンスインターナショナル) 23種類の薬物について、その生い立ちと働く機序が分かってきた過程をまとめたもの。薬理および毒性について分かりやすく書かれており、学生から研究者、医師まで薦める入門書。

若い人に  
オススメ!



『数学に感動する頭をつくる』  
栗田哲也著  
ディスカヴァー携書  
2011年

自分の専門でない数学の分野は数学であつても専門外と解釈できるので、この書籍を本学を目指す高校生・大学1年生に読むことを強く薦めます。著者の栗田哲也先生は国際数学オリンピックのメダリストを育てて

**専門分野ならコレ!**  
確率論に関する本格的な専門書でありながら、予備知識として高校までに学習する微積分に限定している点が本書の特徴です。高校までの数学がきちんと理解できていて熱意があれば、本格的な確率論の世界への橋渡しとなつてくれる本として推薦します。また乱数を数学的に説明した著者自身による丁寧な語り口も本書の特徴です。



『確率と乱数』  
杉田洋著  
数学書房  
2014年

## 数学の先生を目指す人にも、数学が苦手な君にも。



大学院自然科学研究科  
情報電気電子工学専攻  
応用数理講座教授  
桑江一洋くわえかずひろ  
専門分野/確率解析  
主な担当授業/確率解析第一

きた本格志向の教育者です。「数学が分からない」「難しいと思う」経緯に至つた人には、その原因と対策をこの本の中で栗田先生が明らかにしてくれます。数学教育や数学教員を目指す人全てに必読の書です。

## 附属図書館中央館から

リネアールオープンから1年。新たに加わつた「動」の空間としての機能も徐々に認知されてきたようで、1階の「グループ学修室」がグループ討議やプレゼンテーションの練習などに活発に利用されるなど、最近の図書館は活気がついています。



学生が英語の授業で書いた手書きポップ



「学生選書員」が選んだ本の数々

書きPOPを付けてお出しして頂く予定です。職員とは違う、学生なら

ではの視点で選ばれた本はなかなか興味深いものがあります。

レファレンスデスクには平日の13時から16時まで司書が常駐、また、16時から19時までには学生の学習を手助けする大学院生(TA)が座り、さまざまな質問に答えるなどとして、図書館を訪れる皆さんのサポートを行っています。ネット情報だけで論文は書けません。必ず実際の文献に当たることが大切。まずは、授業の合間の休憩場所の感覚で、足を運んでみてください。そして、質問や相談があれば、気軽にスタッフに声を掛けてください!

私たち司書がお待ちしています!



岡本洋一/法曹養成研究科①『本を読む本』(J・モーティマー・アドラー/V・チャールズ・ドレーン著 外山滋比古/橋本知子訳 講談社) 昨年読んで「20年遅かった」と天を仰いだ本。皆さんの素晴らしい読書生活のためにぜひお薦めします。

②『犯罪と刑罰』(ベッカー)著 風早八十二/風早二葉訳 岩波書店) 私の専門分野である刑事法学における古典中の古典というべき。驚くべきことに、18世紀末のイタリア・ミラノで24歳の若者が書いた本ですが、犯罪、刑罰そして社会と国家の関係まで論じられており、今もその価値を失わない視野の広さが素晴らしい。

持田悟/大学院先端機構①『伝わる、揺さぶる! 文章を書く』(山田スニー著 PHP研究所) 成果を得るための文章への入り口を平易に提示。役に立つ文章の書き方を教えてくれる。

上野真也/政策創造研究教育センター①『生きがいについて』(神谷美恵子著 みすず書房) 著者は精神科医としてハンセン病患者に関わり、深く人生を考へてきた人。生きがいを見失ったり、迷ったりした時に、どうしたら新しい生きがいを見い出せるかを優しく導いてくれる本。②『心の習慣』(アメリカ個人主義のゆけえ) (ロバート・N・ベラー/リチャード・マドセン/ウィリアム・M・サリヴァン/アン・スウィドラー/ステイヴン・M・テイブトン) 著 島田進/中村圭志訳 みすず書房) 現代アメリカの、個人主義が行きつく不安定な社会の現状を明らかにしつつながらとは何かなどについて考えさせる良書。

田中尚人/政策創造研究教育センター①『自分のなかには歴史をよむ』(阿部謹也著 筑摩書房) 分かる。とは自分が変わる。こと。太字はそうやって成長していく場だと思ふ。②『瀬戸内海の発見』(意味の風景から視覚の風景へ) (西田正憲著 中公新書) 日本風景の美を考へる時、分かれ合えない他者との対話から全てが始まる。風景を読み解くための一冊。

岡田誠治/エイズ学研究センター①『遍歴』(神谷美恵子著 みすず書房) ハンセン病の精神科診療に生涯を捧げた著者の自伝。医師になる決意をしたことから、母として妻としての義務と仕事との葛藤などが赤裸々に綴られてる。②『エイズをどう救うか』(研究と治療の最前線) (原田信志著 中公新書) エイズとエムについて平易に解説。読み物として読み応えがある。

# 研究室探訪

Laboratory Exploration

森岡弘志研究室

大学院生命科学研究所(薬学系)

生命分析化学分野

**体**を構成する最も重要な物質の一つであるタンパク質。その機能を解析し、病気の予防や診断、治療に役立つようなタンパク質を作ること、創薬につながる研究を行っているのが森岡弘志研究室です。中でも、生体内で異物を認識するタンパク質である「抗体」に着目。抗体分子中にある“抗原をとらえる働きを持つ領域(Fv領域)”のみをつなぎ合わせ、本来の抗体よりもはるかに分子量が小さい「一本鎖抗体」を作製し、その実用化を目指して研究を進めています。

また、「チロシンキナーゼ」に関する研究も行っています。「チロシンキナーゼ」はがんをはじめとするさまざまな病気に深く関わるとされるタンパク質で、そのタンパク質の異常な働きを阻害する「チロシンキナーゼ阻害薬」は抗がん剤として使用されています。小橋川敬博准教授を中心とするプロジェクトでは、「チロシンキナーゼ阻害薬」の薬物耐性のメカニズムに迫り、既存薬が抱える欠点を克服するための創薬に取り組んでいます。

**薬**学領域における分析化学は、生命現象を“数字”で捉えて分析し、それを基に判断していく力が求められる学問です。「酵素活性や結合定数、熱量変化など、実験で得られた数値やデータをしっかり読み取り、理解につなげてほしい。そのプロセスを通じ、社会に出て一つの現象についてしっかりと思考し、行動する力が身に付きます」と語る森岡教授。学生たちは、各自のテーマで研究を行っていますが、テーマは違っても手技・手法に共通点が多いことから、助け合いながら実験を進めています。

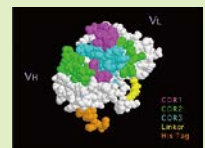
森岡教授は「薬を創ることは、相当な努力が要求される一方、創造性とやりがいに溢れています。研究は結果が出れば華やかですが、それまでは地味な作業の繰り返しです。苦しい時も、粘り強くやり続けようと努力する人になってほしいですね」と、学生たちにエールを送ります。

## lab's data

[森岡研究室データ]

### □ 研究テーマ

- I. 創薬・病態解析・治療法の開発に有効な抗体の分子工学的研究
- II. DNA複製・修復関連タンパク質の機能解析
- III. 創薬へ向けた疾患関連タンパク質の構造、機能、動態、分子間相互作用に関する研究



森岡研究室が開発した一本鎖抗体の分子モデル

### □ メンバー

森岡弘志教授、小橋川敬博准教授、大学院生6人(学振特別研究員1人)、学部6年生(薬学科)2人、5年生(薬学科)1人、4年生(創薬・生命薬科学科)3人、4年生(薬学科)2人、3年生(創薬・生命薬科学科)2人、3年生(薬学科)3人

### □ OB・OGの進路

熊本大学医学部附属病院、一般財団法人化学及血清療法研究所、久光製薬株式会社、コニカミノルタ株式会社、済生会熊本病院、今給黎総合病院、菊野病院、総合メディカル株式会社、株式会社ファーマダイワ、岩手県庁、鹿児島県庁 ほか

## Interview:

### 母の姿を見て知った薬のすごさ 病気で苦しむ人を薬の力で助けたい

薬学教育部創薬・生命薬科学専攻  
博士前期課程2年 山下 駿さん

主な研究テーマは「簡易的なダイオキシンの検出系の開発」です。ダイオキシンの毒性の強さを測るとき、今ある測定方法では大まかにしか分かりません。もっと詳細に測定できる方法を、抗体を使って開発できないか探っています。タンパク質は、構成しているアミノ酸一つが変わるだけで、その性質が大きく変化するのが面白いところ。このようなタンパク質工学的な応用が、いずれは創薬につながるのではないかと期待しています。

私が薬学の道に進むことを選んだのは、持病で苦しむ母を長年見てきたためです。薬を飲むことで病状が変わるのを目の当たりにして、薬のすごさを思い知り、苦しんでいる多くの人を薬の力によって助けられることができたらと思いました。

薬学部は3年の4月という比較的早い時期から研究室に配属になるので、じっくり研究に取り組むことができました。来年の春には製薬メーカーに就職する予定です。これからも研究を続けていけたらと思っています。



タンパク質がなくては始まらない!タンパク質を精製する「液体クロマトグラフィー装置」はほぼ毎日使う。

## 密着! 森岡研究室

生命現象を数字で捉えても  
のごとを判断する能力を養  
う、森岡研究室におじゃま  
しました。



# 新たな抗体分子を創り 医療に貢献したい!

Aug. 21 Aug. 22



メンバーの親睦を深めるため、毎年実施している研究室旅行。今年は8月21日～22日に、別府・大分へ行った。

11:15



遺伝子組換えタンパク質の調製をするため、協力し合いながら作業。研究テーマは違っても助け合う姿勢を大事にしている。

11:00

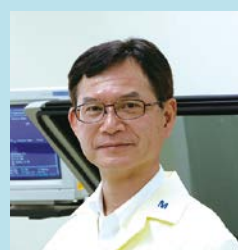


「SPRバイオセンサー」は分子と分子の結合を、質量の変化によってピコグラム単位で見ることができる。

# 放射線を 適切に管理し 研究・教育を支援

## 熊本大学生命資源研究・支援センター アイソトープ総合施設

熊本大学とその附属施設のいくつかは、研究や教育、診療などに放射線を利用しています。放射線を安全に管理し、研究・教育、診療などへの活用を支援するため、重要な役割を果たしているのが「アイソトープ総合施設(Radioisotope center: RIC)」です。RICの施設長である岡田誠治教授にお話を伺いました。



アイソトープ総合施設長  
岡田誠治教授  
(エイズ学研究センター教授)



### 放射線従事者のための最先端の サポートシステムを導入

「アイソトープ総合施設(RIC)」ではどのようなことを行っているのですか？

アイソトープとは正しくはラジオアイソトープといい、放射線を出しながら別の元素へと変わる性質を持つ放射性同位元素のことです。本学の医学部や薬学部、理学部、工学部などには、薬剤の動態を調べるために放射性同位元素で標識したり、地下水の年代測定に放射性同位元素を用いたりなど、放射線を利用した研究・実験などを行っている研究者や学生が数多くいます。また、附属病院での診療にも放射線は欠かせません。「生命資源研究・支援センター(IRDA)」の構成組織の一つであるRICでは、本荘・黒髪・大江地区にある「アイソトープ施設(RI)」と連携、役割分担しながら、全学的な放射線の安全管理を行い、研究者や学生を対象とした教育や研究を支援しています。

—— 本学のRICならではの特徴はありますか？

同様の施設は、全国21の国立大学に設置されていますが、本学では、全国に先駆けて「学内LANを用いた放射線取扱者個人管理システム」を導入しました。大学事務局や附属病院、保健センター、RIとを学内



アイソトープ総合施設  
アイソトープ総合センター(平成6年設置)を前身とし、平成15年よりアイソトープ総合施設となる。本荘中地区(医学部キャンパス)にあり、全学的な放射線の安全管理、教育訓練、研究支援を行っている。施設長およびIRDAのRI実験分野専任職員などを置く。

LANで結び、放射線従事者の教育訓練の記録や被ばく測定結果、健康診断結果などをRICで三元管理、適切な安全管理を行うことができます。

また、RICでは特に教育研究系放射線業務従事者および放射線診療従事者向けの教育訓練に力を入れており、eラーニングシステムと連動して実施しています。例えば、放射線従事者は毎年講習を受けなければならないのですが、従来の講義形式の講習では、どうしても参加できない人が出てしまいます。eラーニングシステムを利用すれば24時間受講できるので受講漏れがありません。自分が十分なレベルに達しているか確認できるテストもシステム内で受けることができます(図1参照)。

### 研究を、社会を さまざまな形でバックアップ

—— 研究のバックアップもされていると伺っています。

依頼を受けて、画像の測定と作成などを行っています。ここでは、放射線による撮影

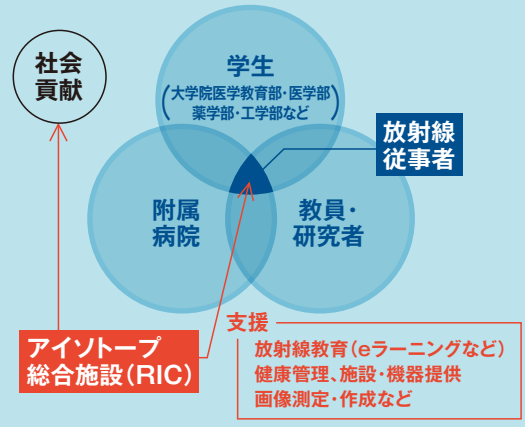
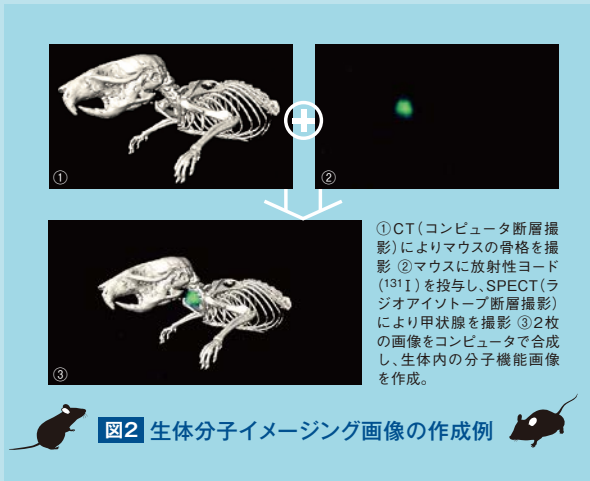


図1 RICの放射線従事者に対する支援と社会貢献

——社会活動にも取り組まれているとお聞きしましたが?

放射線の専門知識や技術を生かして、社会活動にも貢献しています。東日本大震災の際には国からの要請を受け、被災住民の方の放射線量測定に協力しました。また、放射線に対する小・中学生および高校生、あるいは専門家向けの講習会などにも参加しています。高校生向けに「霧箱」を使った

と他の手法とを組み合わせ、総合的な生体分子イメージング画像を作成することができます。例えば、CT(コンピュータ断層撮影)にSPECT(ラジオアイソトープ断層撮影)や、蛍光・発光イメージングを組み合わせたことで、より視覚的に分かりやすい生体内の分子機能画像を作り出すことができます(図2参照)。

**Reporter's memo**

取材で施設の中に入る時、体に付けておくようにと渡された「個人被ばく線量測定器」。個人専用のIDとパスワードが割りふられ、入退室時はそれらを入力の上、一人ずつ扉を通過。退室時には汚染されていないかの測定も行います。何重もの監視体制に、放射線を扱う施設なのだ実感するとともに、ここまで厳格に管理されていることに安心感を覚えました。

体験実験を行ったこともあります。霧状のアルコールを満たした容器をドライアイスで冷やすことにより、放射線が飛び様子を観察することができるとのことです。

このような体験などを通して、皆さんに放射線のことを知ってほしいと思います。放射線は医療分野をはじめ、工業・農業分野などにも広く活用されています。ごく基礎的な知識を持つていけば、いざというときパニックになることもありません。日本の放射線に関する基準は国際的に見ても厳しく設定されています。RICでは、国の法令ののっとり安全管理に努めつつ、本学の放射線従事者の教育訓練や放射線を使用した研究の支援はもちろん、正しい知識を普及するための社会活動などにも積極的に関わっていきたくと思っています。

# 信仰心のあつい人々が多い ポーランドで豊かな生き方を学ぶ

大学院教育学研究科 修士課程 学校教育実践専攻2年  
末吉彬子さん

2013年6月から1年間、交換留学生として  
ポーランド共和国・ワルシャワ大学の門を叩いた末吉彬子さん。  
カトリック教徒が国民の約88%(\*)を占める国で  
日本における宗教教育の意義を探る日々を送りました。



クリスマスシーズンでにぎわう王宮前広場にて。冷たい空気に太陽の光がキラキラと輝く冬は、カラフルな建物がより一層かわいらしく見える。

宗教教育の研究を進める中で、私が留学を決意したのは一人の友人との出会いでした。熊大に留学してきた学生のチューターを務めた際に、彼女の信仰を目的の当たりなし、「海外に身を置いて、宗教を有する人々の暮らしやものの考え方を体感したい」と思ったことがきっかけです。

熊大の学生交流協定校の中からワルシャワ大学を志願し、ヨーロッパ圏の中でも特に信仰心のあつい人々が多いポーランドで、1年間の留学生活がスタートしました。

首都・ワルシャワは敬虔(けいけん)なカトリックの街で、例えば教会の前をバスで通りかかると乗客が十字を切り祈るような古き良き時代の風習が今も残っています。

人と人をつなぐ要素として、あるいは生きる軸としての宗教と人間性を豊かに

現在、日本における宗教教育の意義と課題をテーマに修士論文を執筆中。多くの人が特定の信仰を持たないこの国で、自身、教育機関を通して宗教にどのように向き合っていくか。留学の体験を生かしつつ、ベストな方法を模索しているところです。

留学する前は日本を飛び出すハードルがとても高いと思っていただけ、一度海外へ出てみるとその意義の大きさを知り、今後の選択肢が広がりました。将来は英語教師に決めていましたが、柔軟な考えと視点で世界にも目を向け、これからの考えていきたいと思っています。



英語は得意だがポーランド語は苦勞したという末吉さん。和紙や扇子などをプレゼントしたり、天ぷらなどの和食をふるまってコミュニケーションを図った。

\*平成26年6月 外務省調べ



6 / 6  
熊本留学生交流推進会議総会を本学にて開催

7 / 1  
医学部国際交流臨床実習プログラムを実施(25日まで)  
国立成功大病院(台湾)との学術交流に關連して、同大学の医学部生1人が参加しました。



9  
グリフィス大学(オーストラリア)学生と熊本大学学生との異文化体験交流イベントを開催  
ジーン・モナチー教授および学生ら14人を迎え、同大学の学生らが八代市五家荘で撮影したドキュメンタリー映画の上映や日本文化特別授業を行いました。



12  
フランス・ウヰジダ駐日ブルキナファソ特命全權大使が谷口学長を表敬訪問

15  
国立台北科技大学機電学院(台湾)・熊本大学工学部/大学院自然科学研究科 部局間学術交流協定及び学生交流協定 調印式・表敬訪問  
楊哲花機電学院院长が来日、村山伸樹工学部長、宇佐川毅大学院自然科学研究科副研究科長などを表敬訪問し、交流協定調印式に参加  
後、パルスパワー科 学研究所、先進マ グネシウム国際研究センターを見学しました。



18  
大学院先導機構(人文社会科学系国際共同研究拠点事業)による公開講義開催



世界から熊本大学へ

# 大好きな日本の言葉と文化を習得し 日本とインドネシアを結ぶ架け橋になりたい

文学部特別聴講学生(日本語・日本文化研修プログラム)  
イ・プトゥ・サンリオ・スタンディさん

2013年9月から、特別聴講学生として  
本学文学部に在籍しているサンリオ(通称リオ)さん。  
将来、祖国と日本との架け橋になることを目指し  
高い日本語の能力を身に付けるべく勉学に励んでいます。



ポーランド共和国  
熊本  
インドネシア共和国(バリ島)

日本語を勉強し始めたのは高校1年生から。インドネシアでも人気がある日本のアニメやマンガに興味を持ったのがきっかけです。私の出身地であるインドネシアのバリ島は観光業が盛んなので、外国語を習得すればきっと将来役に立つだろうと思えました。母国では「サラスワティ外国語大学」の日本語学科で学び、4年生の時に日本の文部科学省が実施する「日本語・日本文化研修プログラム」の奨学金を得て熊本大学にやってきました。



熊本に来て間もないころ、インドネシア、マレーシア出身の仲間と一緒に和服を着用体験。左から2人目がリオさん。



本学が主催した昨秋入学の留学生歓迎会で、出張中の「在日インドネシア留学生協会」熊本支部長に代わりあいさつをするリオさん。

このプログラムは「日本語能力向上コース」と「日本事情・日本文化研究コース」に分かれ、私は日本語能力を高めることを中心とした前者のコースを選択しています。日本語の魅力は四季に関する言葉が豊富なことではないでしょうか。日本文化は四季があつてこそ成り立っているのだと、雨季と乾季しかない国から来た私には感じられます。季節を織り込む俳句は豊かな日本文化を象徴するもの一つだと思います。私も俳句を詠むのが好きですし、インドネシアでも人気があります。皆さんが思っている以上に、インドネシアの人々は日本と日本の文化が大好きなのです。

留学は今年の9月いっぱいまで。現在は修了レポートのため、村上春樹の作品を分析しています。私の日本語能力はまだまだ。これから修得に励み、将来は日本と祖国の架け橋となる仕事をしたいと思っています。

25  
ラオス保健科学大学(ラオス)の学生らが本学を訪問(31日まで)  
「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」により、学生10人と教員1人が薬学部や医学部、同附属病院などを訪問しました。

18  
山東大学(中国)の学生らが本学を訪問(23日まで)  
「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」により、学生8人と教職員2人が工学部研究室などを訪問しました。

8/2  
スラバヤ工科大学(インドネシア)の学生らが本学を訪問(9日まで)  
独立行政法人科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」の採択を受け、学生10人、教員1人を大学院自然科学研究科に招きました。

29  
熊本大学サマープログラム2014を実施(8月8日まで)  
交流協定校から40人の留学生が参加し、日本語学習のほか、日本文化体験や熊本城や阿蘇の見学などを行いました。



## まだ少ない消化器外科の女性医師 高い技術を学んで社会に還元



村田 飛鳥

Asuka MURATA

静岡県立静岡がんセンター  
勤務

医学部医学科・平成18年度卒／大学院生命科学研究所消化器外科学博士課程・平成25年度修了

昭和56年生まれ、福岡県久留米市出身。福岡県立明善高校卒業、熊本医学部卒業後、2年間の初期臨床研修を経て熊本消化器外科医局へ入局、外科医の道へ。平成26年3月医学博士を取得、再び臨床医として修行中。

熊大のココがイイ!

臨床・研究・教育のバランスが取れており、多方面に可能性が広がっていること。

学んだことを社会に還元し  
人と触れ合える仕事を志す

人間の行動学や心理学に興味があり、研究職や教育職も考えましたが、習得したことを自分の手を介して直接還元できる仕事、人と触れ合う仕事がしたいと思い医師を志しました。高校時代はハンドボール部のキャプテンを務め、チームプレーに親しみ、切磋琢磨したことは外科の選択に影響したかもしれません。

楽しい学生生活を送りつつ  
医師としての覚悟を学ぶ

医学バレーボール部に所属し、練習はもちろん仲間とのイベントや飲み会など本当に楽しく過ごしました。一方で医師としての最初の人格形成がなされた時期でした。解剖や生理学などの授業で改めて人体の奥深さを学ぶとともに、臨床実習では先輩医師の姿や患者さんとの触れ合いを通し、命に関わる職業に就く者としての覚悟が育まれたと思います。

今学んでいる最先端の技術を  
いつか熊本に還元したい

元は内科医志望でしたが、初期臨床研修における外科研修で手術の面白さと難しさを知り、外科医の道を選びました。消化器外科の女性医師はまだ少なく、女性の患者さんに喜ばれます。最先端の腹腔鏡下手術やロボット手術を全国有数の施設である当院で学び、いずれは熊本に帰って知識や技術を還元したいと考えています。

# 卒業生 ジャーナル

Graduates' Journal

本学の卒業生たちの“今”に迫る「卒業生ジャーナル」。  
熊本県内はもとより、国内外で活躍する先輩たちのこれまでの歩みや苦労、そして喜び、楽しみなどを通して精励するその姿をご紹介します。



## 熊本市の活性化を目指し 建築以外の業務にも携わる



徳永 英知

Eichi TOKUNAGA

熊本市観光文化交流局  
勤務

工学部環境システム工学科・平成12年度卒／大学院自然科学研究科博士前期課程・平成14年度修了

昭和54年生まれ、熊本県熊本市出身。熊本県立熊本高校から熊本大学へと進み、建築を学ぶ。趣味はカメラと旅行。

熊大のココがイイ!

伝統を大事にしつつ、新しいことに挑戦できる環境があるところ。

“形に残る大きな仕事”をしたくて  
建築の分野を志す

高校時代には具体的な夢は持っていませんでしたが、“形に残る大きな仕事”に携わりたいたいと思い、土木か建築のどちらかの分野に進みたいと考えていました。受験当時、建築士をモデルとしたドラマがはやってたこともあり、最終的には、より生活に密着した仕事ということで建築の分野を選びました。

つらかったこと、苦しかったことが  
より大きな糧になった学生時代

楽しいことはたくさんありましたが、それよりも工学部運動会の応援団でのつらい練習や、空調設備も無い部屋で汗だくになりながら徹夜で作業した製図や模型作りを、仲間と一緒に乗り越えたことの方が、より強く心に残っています。大学で得た仲間や苦労した経験が、今の自分の支えになっているように感じます。

活気溢れる熊本を目指して  
幅広い分野の業務に取り組む

設備系の建築会社に勤務した後、熊本市役所に入りました。建築指導課、住宅課を経て、昨年からシティブロモーション課のMICE推進室という部署に所属。本市の重点施策であるMICE施設(大規模集客施設)の整備担当として、建築以外にも計画立案、条例制定など幅広い分野に携わっています。これからの熊本の地域活性化と知名度向上を目指し、業務に励む日々です。



## 大学時代は歴史書を繰った手で 白バイのハンドルを握っています



荘田 貴浩

Takahiro SHODA

大分県警察本部  
交通機動隊 勤務

文学部歴史学科・平成21年度卒

昭和62年生まれ、大分県大分市出身。大分県立大分舞鶴高校卒業。学生時代のバイクの趣味が高じて、現在は白バイ隊員として勤務中。

熊大のココがイイ!

指導熱心な先生方と一生の仲間に出会える場所です。

面白かった世界史の授業が  
歴史学を専攻するきっかけに

高校生のころの夢は、世界史の教師になること。高校1年時に教わった先生の授業が、まるでテレビ番組の歴史物語を見ているように面白く、今どきの大学入試向けの授業とはかけ離れていて、とても印象的でした。これが熊大で歴史学を専攻するきっかけになりました。

研究に向き合う時間もたっぷり  
やりたいことをやれた4年間

在学時はフランス近代史を専攻。研究と趣味に没頭し、好きなだけ自分のやりたいことをやれた4年間でした。歴史学科では2年から研究室に所属するので、随分と長く自分の研究に向き合えたと思います。“垣根”や“制限”のない自由な研究環境の中、真夜中まで研究室で文献とにらめっこして論文作成に取り組んだり、仲間とキャンプや海外旅行に行ったり、いい思い出がたくさんできました。

交通事故の犠牲者を減らしたい  
やりがいのある、安全を守る仕事

現在は、大分県警の白バイ乗務員として、交通指導取り締まりを主体に、駅伝・マラソンの先導警備や白バイ展示などの交通安全啓発活動にも従事しています。大学での専攻とは全く違う分野に進みましたが、悲惨な交通事故による死傷者を一人でも減らせるよう、日々、皆さんに交通安全を呼び掛ける仕事には大きなやりがいがあります。

## 教

# 音楽に感動する心を子どもたちに伝え、共有したい



## 合志 るみ子

Rumiko GOSHI

熊本大学教育学部  
附属小学校 勤務

教育学部中学校教員養成課程・  
平成9年度卒

昭和50年生まれ、熊本県菊池郡合志町(現合志市)出身。熊本県立済々養高校卒業。県立松橋養護学校、県立峯北養護学校、あさぎり町立須恵中学校(閉校)、大津町立大津小学校を経て現任校。将来の夢は(もし叶うならば!)映画音楽の作曲家。

熊大のココがイイ!

「好きこそものの上手なれ」を  
実践できる環境が  
整っていること。

受験に関係なく楽しく学べる  
教科として「音楽」を選ぶ

高校生の時から教師になりたいと思っていました。常に成長し続ける子どもたちと一緒に過ごしたかったからです。何を専門にするかを考えたとき、いわゆる受験教科に関係なく、学校だからこそ楽しく学べる教科をと思い、音楽の先生になろうと2年生の時に決めました。

専攻は音楽。好きなことを  
思いっきりやれた4年間

音楽科ではピアノ、声楽の伴奏、オペレッタなどの卒業制作といった次のステージに向けての練習や、先輩や友達とおしゃべりするひとときが毎日楽しみでした。熊大フィルハーモニーオーケストラではチェロを担当し、ドボルザークの交響曲などを演奏しました。合宿や県内の小・中学校への演奏旅行もあり、充実した時間を過ごしました。

その曲の魅力はどこにある?

子どもたちと一緒に発見・分析

現在、教職17年目。これまで特別支援学校をはじめ、さまざまな学校で音楽教育に関わり、今は附属小で3年生以上の音楽専科をしています。曲に出合った時の「好き!」「おもしろい!」という感動の源を子どもたちと一緒に発見し、音楽の魅力を共に学ぶ毎日です。これからも、生活の中に溢れる音楽の魅力を子どもたちに伝えていけたらと思います。

## 法

# 社会正義を守るため 検察官と共に犯罪に向き合う



## 今富 崇仁

Takahito IMATOMI

熊本地方検察庁 勤務

法学部法学科・平成24年度卒

平成2年生まれ、福岡県築上郡築上町出身。福岡県立京都高校卒業。趣味はスポーツ観戦とドライブ、休日には職場の部活で野球やバレーなどをしている。

熊大のココがイイ!

程よい自然と都会感、  
そして熊本ならではの  
人の温かみが  
うまく調和している。

社会正義を守る姿に「カッコいい!」と  
憧れた検察の仕事

中学生の時にテレビドラマ「HERO」の再放送を見て、以後ずっと法律関係の仕事がしたいと思っていました。真実を追究し、社会正義を守る検察の仕事に「カッコいい!」と思い、高校生のころには、法学部に進学して検察官になるのが夢となっていました。

「今しかできない」にチャレンジしつつ  
将来のための準備も着実に

学生時代にしかできないことにたくさんチャレンジしようと思い、勉強だけでなく、バイトや学部のイベント運営などさまざまなことに取り組みました。法科大学院進学も考えましたが、早く検察の世界で働いてみたいという思いもあり、3年からは検察事務官を目指し、国家公務員試験受験のため、学内の公務員講座を受講し始めました。

憧れの職場で感じる  
大きな責任とやりがい

現在は検察官と一緒に取り調べをしたり、事件の処分をしたりと主に犯罪に対して向き合う仕事をしています。人の一生を左右する重大な決断を下すこともある責任重大な仕事です。いろいろと考えさせられることも多く、勉強の毎日。社会正義のためにという理念の下、職務に励む職員姿は私が学生時代から憧れていたものであり、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

## 理

# 熊本の経済発展の一助となるよう 地元の金融機関で業務に励む



## 山本 晋

Shin YAMAMOTO

株式会社肥後銀行(熊本)  
勤務

理学部理学科・平成23年度卒/  
大学院自然科学研究科博士前期  
課程・平成25年度修了

平成2年生まれ、熊本県八代市出身。熊本県立八代高校卒業。趣味は筋トレと旅行。将来の夢は日本を代表するような人になること。

熊大のココがイイ!

選択肢が豊富にあり、  
さまざまなことに  
チャレンジできること。

世界中を飛び回って働く  
未来の自分をイメージしていた

幼い時から見知らぬ土地に行くことが好きで、将来は仕事を通じて世界中を飛び回り、さまざまな国の人々と触れ合いたいと思っていました。世界で活躍する商社マンのような仕事をイメージしていました。当時の自分は、将来自分が地元の企業で働くことになるとは想像もしなかったと思います。

勉学、スポーツ、一人旅

さまざまなことを経験した学生時代

大学時代は体育会ラグビー部に所属し、ラグビー漬けの毎日でした。学業では数学、中でも微分幾何学という分野を専攻しており、学業と部活の両立は大変な時もありましたが、とても充実した日々でした。また、一人で世界中を旅するなど貴重な経験もできました。部活の仲間たちと毎日バカをやったことはいい思い出です。

細やかな銀行業務に気を使いながらも  
お客さまとの触れ合いを楽しむ

現在は銀行で業務係をしています。窓口に立ってお客さまに対応したり、後方で伝票の整理や記帳などをしたりと、細かくて複雑な銀行業務は、本来おどろばな性格の私にとっては大変なことが多いのですが、さまざまなお客様と触れ合うのは楽しいです。今後、さらに勉強し、熊本の経済の発展に貢献できるように頑張りたいと思います。

## 薬

# 調剤薬局の薬剤師として 医師と患者さんの架け橋に



## 平田 由佳

Yuka HIRATA

有限会社むつみ薬局(熊本)  
勤務

薬学部薬科学科・平成17年度卒

昭和58年生まれ、鳥取県米子市出身。鳥取県立米子東高校卒業後、熊本大学へ。趣味は滝巡り。

熊大のココがイイ!

先生と学生の距離が近く、  
学生間の縦と横の  
つながりが強いところ。

母の助言と薬剤師との出会いで  
見えてきた将来の目標

中学生のころ、将来に悩んでいた私に、母が薬剤師という職業があることを教えてくれました。生物や化学が好きだった私は、その助言から薬学部を目指し始めました。最初は漠然としていましたが、ドラッグストアで薬の説明してくれた薬剤師から元気をもらった時、私もこうなりたいと明確な目標に変わりました。

大勢の仲間と楽しんだ部活動

日々実験! 充実した研究室生活

研究室配属前は、部活中心の生活でした。野球のルールも知らないのに、楽しそうという理由で薬学部野球部のマネージャーに。部活動帰りに大人数で食事に行き、遅くまで談笑したのはいい思い出です。研究室配属後は、日々実験で大変なこともありましたが、部活や研究室で出会った先生や先輩方、友人は、今もかけがえのない存在です。

患者さんの健康をサポートするため  
日々学び続けることが大切

薬剤師として、患者さんが安全に薬を使うためのサポートをするだけでなく、医師には話にくいことを聞くことで、医師と患者さんの懸け橋になれるよう丁寧な対応を心掛けています。健康に関する相談は、内容によっては即答できなかったり、患者さんの方が詳しくたりと、新しい情報に意識を向け、学び続けることの重要性を痛感する毎日です。

## REPORT 熊本大学国際先端医学研究拠点施設開所式を開催

7月8日(火)、国際先端医学研究拠点施設の開所式を開催しました。総事業費は約8億円、鉄筋コンクリート5階建てのこの施設は、生命科学系の世界トップクラスの国際共同研究を展開するために必要な研究基盤として整備され、本学が昨年度採択された「研究大学強化促進事業」においても研究力強化の先導的役割を担う拠点となります。

式典は谷口学長のあいさつに始まり、日本医学会会長・高久史麿氏、(独)日本学術振興会学術システム研究センター相談役・黒木登志夫氏、文部科学省研究振興局学術研究助成課

長・合田哲雄氏、本学名誉教授・宮川太平氏による祝辞が述べられた後、テープカットおよび施設見学会、そして祝賀会などが行われました。



## REPORT 「さくらサイエンスプラン」でラオス保健科学大学の学生が来学

8月25日(月)～31日(日)、(独)科学技術振興機構(JST)の日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン」により薬学部へ招かれたラオス保健科学大学の一行11人が来学し、生命科学系のさまざまな分野の研修や実習などを通じた相互交流を行いました。

ラオス保健科学大学とは2010年に部局間交流協定を締結し、これまででも交流を行ってきました。今回の来学を機に、学生間および大学間の親交をさらに深め、次なる学生交流・研究交流へと発展させる予定です。



(上)看護学科における乳児医療とケアの研修  
(下)研修終了後、福岡空港にて修了証書を受け取る様子

## REPORT 本学と菊池市の包括連携協定の調印式を行いました

8月18日(月)、菊池市の国登録有形文化財「旧松倉邸」にて、本学と菊池市との包括連携協定書の調印式が行われました。双方はこれまで熊本大学政策創造研究教育センターを中心に大学と地元住民による地域活性化事業「域学連携」を進めてきました。

調印式では、谷口学長が「菊池市の歴史と文化を発掘し、地域から世界につながるような取り組みを行っていく」とあいさつ。江頭実市長は「菊池ブランドにつながる癒やし・心身の健康・ものづくりに向けた熊本大学のアイデアに期待している」と期待を寄せました。



調印式を終えた江頭菊池市長(左)と谷口学長

## REPORT 熊本大学新実習調査船「ドルフィンスーパーチャレンジャー」が竣工

9月3日(水)、先端技術を搭載した沿岸環境先端教育研究用実習調査船「ドルフィンスーパーチャレンジャー」(基本設計:沿岸域環境科学教育研究センター秋元和實准教授)が竣工し、記念式典と試航海が、合津マリンステーション(上天草市)で行われました。本船は、浅海域を安全に航行するためのソナーや精密なGPSなど、有明海・八代海の生物学、地球科学、環境工学などの調査・研究用設備が充実しています。

本船によって国内最大の干潟を持つ有明海・八代海の生物生息環境を調査・研究することは、環境科学分野の先端的研究にとどまらず、高潮など

の災害に対する行政の防災施策の意思決定に対し、高度な技術的アドバイスをを行うことも期待されます。



(下)左から逸見泰久沿岸域環境科学教育研究センター長、谷口学長、川端祐樹上天草市長

**REPORT** 来たれ! 未来の熊大生—オープンキャンパスを開催

8月7日(木)、黒髪、九品寺・本荘、大江の各キャンパスで、オープンキャンパスが開催されました。雨続きだった今夏、久しぶりの晴れ間が広がったこの日、キャンパスは大勢の高校生や保護者でにぎわいました。

理系の学部では、有機化合物を混ぜ合わせるだけで自然と反応が起こり、新しい化合物が出来る実験や、魚の白子から遺伝子を取り出す実験などが行われました。また、教育学部家政教育学科の学生は、手作りの浴衣姿で迎えるなど、在学生たちは未来の後輩のため、工夫をこらしたもてなしをしました。



(左下) 理学部2号館[化学学生実験室]で行われた有機化合物の実験  
(右) 実際に遺伝子を目で見ることが出来る実験に、楽しそうに取り組む高校生たち

**INFO** 平成26年度「熊本大学政創研公共政策コンペ」を開催します

今年は「熊本、九州、日本を“もっと”元気に!」をテーマに、学生や自治体職員をはじめ、若手社会人たちによる地域を元気にするユニークな政策提言が発表されます。

日時/10月25日(土) 13:00~17:00  
場所/工学部百周年記念館  
参加費/無料  
事前申込/不要

【問い合わせ】  
政策創造研究教育センター  
Tel.096-342-2044  
Fax.096-342-2042  
URL:<http://www.cps.kumamoto-u.ac.jp/seisakusozo/compe/2013/>



**REPORT** 谷口学長が「トビタテ! 留学JAPAN」日本代表プログラム採用者を激励

7月25日(金)、「平成26年度官民協働海外留学支援制度~トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム~」採用者と谷口学長の懇談会を開催。本制度は、海外での「異文化体験」や「実践」を焦点にした留学を推奨することにより、多彩な経験と自ら考え行動できるような体験の機会を提供する目的で、文部科学省が日本学生支援機構および民間企業との共同で新設したものです。

「留学中の人的ネットワークが世界とつながり、日本の国際的影響力の拡大につながる」と谷口学長からの激励を受け、採用者は「熊大の代表、

日本の代表として留学先でも精一杯頑張ると同時に、熊本をPRしたい」と思いを新たにしました。採用者には、自ら計画した留学計画に基づき、欧米からアジアに至るさまざまな留学先で、多彩な経験をする事が期待されています。



**INFO** 第30回熊本大学附属図書館貴重資料展および公開講演会・第9回永青文庫セミナーを開催します

全国的にも珍しい近世初期の家老たちの起請文を中心に多くの資料をご覧いただけます。また、文学部附属永青文庫研究センター長の稲葉継陽教授を講師に迎え、「近世初期細川家血判起請文の世界」と題した講演会・セミナーも開催します。参加無料、事前申込不要です。

日時/【貴重資料展】<3日間>  
11月1日(土)~3日(月・祝)  
10:00~17:00  
【講演会・セミナー】  
11月1日(土) 14:30~16:00  
場所/附属図書館中央館1F

【問い合わせ】  
附属図書館中央館  
Tel. 096-342-2212  
URL:<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/1401>



**INFO** 第9回ホームカミングデーを開催します

本学の卒業生と学生、教職員との相互交流を図ることを目的に開催します。大学の近況報告や学生によるアトラクションをはじめとする多彩な行事と交流の場を用意しています。

ご来場を機会にクラス会の企画など、交流の輪を広げてみませんか？

日時／11月1日(土)13:30～17:00  
 場所／工学部百周年記念館  
 対象／本学卒業生  
 詳細は以下のURLよりご確認ください。  
 URL: [http://www.kumamoto-u.ac.jp/sotsugyousei/home\\_coming/home\\_coming2014](http://www.kumamoto-u.ac.jp/sotsugyousei/home_coming/home_coming2014)

【問い合わせ】  
 運営基盤管理部総務ユニット  
 Tel.096-342-3116  
 Fax.096-342-3110  
 E-mail:kuma-hcd@jimu.kumamoto-u.ac.jp



**INFO** 平成26年度「ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ KAKENHI～」に本学のプログラムが採択されました

「(独)日本学術振興会」が公募するこの事業は、研究機関で行っている最先端の科研費の研究成果について、中・高校生を対象に、じかに「見る・聞く・触れる」ことで、化学の面白さを感じてもらおうプログラムです。

今回は小学5・6年生を対象に、「植物は面白い。植物で遊ぼう」と題し、甘みが消える葉、水で50倍に膨らむ種子など体験します。私たちの生活の中にある科学の恵みを、遊び感覚で楽しく体験しましょう。

～植物は面白い・植物で遊ぼう～  
 甘みが消える葉・水で50倍に膨らむ種子等  
 日時／11月2日(日)9:30～17:30  
 場所／薬学部宮本記念館  
 対象・定員／小学5・6年生、30名  
 参加費／無料  
 事前申込／10月10日(金)までにメールまたはWebよりお申し込みください。

【問い合わせ】  
 薬用資源エコフロンティアセンター  
 Tel.096-371-4381(矢原)  
 E-mail:yaharas1@gpo.kumamoto-u.ac.jp  
 URL: <https://cp11.smp.ne.jp/gakujutu/semnar>

**INFO** 夢科学探検2014 理学部探検・工学部探検 もの・クリCHALLENGE

毎年多くの参加者が訪れる夢科学探検。本年度で22回目を迎えます。今回は約100件の演示実験を予定しています。どきどき!わくわく!なテーマが大集合!多くの実験に参加して、科学の面白さ、不思議さを、私たちと一緒に楽しんでください。事前申込不要、参加費無料です。

日時／11月1日(土)10:00～16:00  
 場所／黒髪南キャンパス(理学部・工学部・自然科学研究科)  
 対象／小学生から一般の方

【問い合わせ】  
 工学部教務担当  
 Tel. 096-342-3522  
 URL: [http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/act/yume\\_index.html](http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/act/yume_index.html)



「夢科学探検2013」の様子

## 熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

No.26 (平成26年6月1日～平成26年8月31日)

卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、法人・団体等の皆様、本学の退職者及び教職員の皆様から、これまでに約5億8041万円(平成26年8月31日現在)のご寄附をいただき、臨床医学教育研究センター建設や本学学生の留学支援、課外活動支援、60年史編纂事業等、研究・教育に資する事業に取り組ませていただきました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、平成26年6月1日から平成26年8月31日までの間に入金を確認させていただきました個人111名、3法人・団体等の寄附者すべての皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者の皆様につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前に記載漏れがある場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務局(電話:096-342-2029)までご連絡ください。皆様の更なるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

### 1. お名前・寄附金額の掲載を希望された寄附者の皆様

(寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※ ( )内の数字は、累計寄附金額(万円)です。

【50万円】	杏龍会(100)	【30万円】	谷口 功(270)	【5万円】	高倉 二男(10)	
【10万円】	菊池 健(140)	外間 祥介(10)	宮家 隆次(30)	橋口 治	山崎 美加子	和田 久子
【5万円未満】	後藤 弘一	島内 保高	恒松 和昭			

### 2. お名前のみ掲載を希望された寄附者の皆様

(五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※ [ ]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

天野 敏夫	井芹 嘉久[3]	稲元 紀夫	内田 徳郎	大塚 武平	大宮 伸二[2]	亀崎 佐織[2]
菊池 峰生[3]	菊池 泰子[3]	木下 勝弘	久保田 敏昭[2]	桑原 博昭	合田 美保子	佐田 英信[3]
佐藤 春郎[2]	佐藤 義晴	柴山 佳夫[6]	瀬戸 致行[5]	高木 彰信	武本 重毅[5]	田中 泰成
月足 敬治[2]	中島 宗春	長野 茂司	長野 久雄[2]	仲摩 史朗	永芳 壽子[2]	野口 雅章[5]
波多野 恭行[2]	林田 敏嗣	原口 要[3]	福島 幹郎[5]	藤田 広作	二塚 信[4]	堀野 敬[3]
本坊 民子[2]	前田 浩[3]	真佐喜 彰[2]	松隈 知子	松田 昌夫	三沢 昌之	三島 嶽志[2]
溝口 寿子[2]	森山 俊弘	両角 光男[5]	柳田 敏孝[6]	山田 孝吉		
熊本医学会[2]	熊本大学医学部医学科後援会					

### 3. お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人53名

#### INFO 「熊本大学古本募金」をスタートしました

古本募金は、在学生、卒業生、教職員及び退職者等の皆様から、書籍やCDをご寄附いただき、その価額を本学学生の教育支援に充てる熊本大学基金の取り組みです。

皆様のご協力をお願いいたします。

##### 【申込方法】

書籍・CDを段ボール箱に詰め、Webまたは電話でお申し込みください。宅配業者がご指定の場所に伺います。5点以上配送費無料。

Web/熊本大学古本募金ホームページ

URL:<http://www.furuhon-bokin.jp/kumamoto-u/>

電話/提携会社/バリューブックス Tel.0120-826-292

(受付10:00~21:00、日曜は17:00まで。年中無休)

##### 【問い合わせ】

熊本大学マーケティング推進部

基金・同窓会担当

Tel.096-342-2029

Fax.096-342-3149

E-mail:ku-kikin@jim.u-

kumamoto-u.ac.jp



#### INFO 「第4回熊本大学関西連合同窓会」を開催します

第4回となる熊本大学関西連合同窓会を開催します。今回は、熊本大学文学部附属永青文庫研究センター長の稲葉継陽教授が「永青文庫細川家資料の世界とその可能性」と題し講演を行います。関西ご在住の皆様、奮ってご参加ください。

日時/11月29日(土)13:30~17:00予定

場所/太閤園(大阪市都島区)

参加費/7,000円(交流会参加者のみ)

##### 【申込方法】

(1)お名前(2)ご住所(3)電話番号(4)卒業学部(5)卒業年(6)Fax番号(7)交流会参加の有無をご記入の上、Faxまたはメールでお申し込みください。詳細は熊本大学ホームページにも掲載しています。

##### 【問い合わせ】

熊本大学マーケティング推進部

基金・同窓会担当

Tel.096-342-3129

Fax.096-342-3149

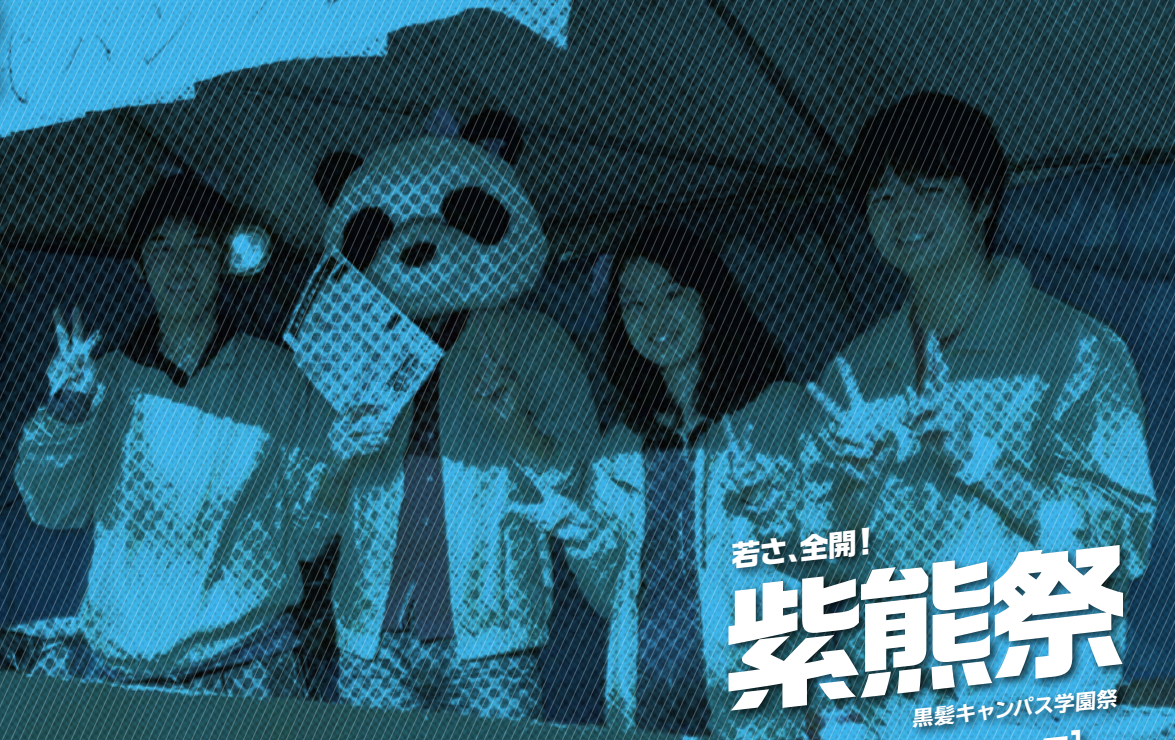
E-mail:kik-doso@jim.u-

kumamoto-u.ac.jp



昨年度開催の様子

熊大、方、み、せ、ま、す。



若さ、全開!

# 紫熊祭

黒髪キャンパス学園祭

2014.11.1 [SAT]  
▶ 11.3 [MON]



知ろう! 楽しもう! 熊薬

# 蕃滋祭

大江キャンパス(薬学部)学園祭

2014.11.1 [SAT]  
▶ 11.2 [SUN]

※本荘・九品寺キャンパス(医学部)学園祭「本九祭」は本年度開催されません。



〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1

TEL.096-344-2111 (代)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

■黒髪キャンパス ■本荘・九品寺キャンパス ■大江キャンパス